

国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センターにて 成人期 ADHD に対するアプリの使用感調査にご参加された方へ

このたび、過去に当センターが実施した「成人期 ADHD に対する認知行動療法を基盤としたモバイルアプリケーションのコンテンツ受容性とユーザビリティ（使いやすさ）調査」（以下、当該研究）にて得られた情報の一部について、下記の研究に対し提供を行います。この研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意をいただくかわりに、利用目的等を含む研究の実施について、情報を公開いたします。

この研究に対し当該研究で得られた情報を利用することにより、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ございませんが、ご自身の情報を利用・提供して欲しくない場合は、問い合わせ窓口までご連絡ください。なお、利用・提供してほしくないと申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはございません。

1. 対象となる方

2025年4月4日より2026年12月31日までの間に、当該研究にご参加され、研究で取得した情報の二次利用について文書で同意をいただいた方

課題名：成人期 ADHD に対する認知行動療法を基盤としたモバイルアプリケーションのコンテンツ受容性とユーザビリティ（使いやすさ）調査

責任者：国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター 久我 弘典

2. 試料情報の提供のみを行う者の機関名・所属・氏名

機関名：国立精神・神経医療研究センター

所属・氏名：認知行動療法センター・久我 弘典

3. 試料・情報を提供する研究課題名と研究代表者又は研究責任者

研究課題名：成人期の注意欠如・多動症に対する個人認知行動療法：パイロット無作為化比較試験

研究期間：研究実施許可受領後から2029 年 3 月 31 日まで

研究代表者（研究責任者）：国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター（吉田 和史）

4. 利用又は提供する試料・情報等と取得方法について

試料：該当なし

（取得方法）該当なし

情報等：

（ア）当該研究において、ワークごとに取得した使用感に関するアンケートへの回答（動画・ワークシートのわかりやすさ、言葉遣い、不快に感じた表現の有無、提示された事例がご自身に当てはまるか、分量、改善点などに関する設問への回答）

（イ）使用感に関する面接（インタビュー）の記録

（取得方法）2025年4月4日より2026年12月31日までの間に、当該研究において、研究対象者から文

書による同意を得て取得した情報

5. 試料・情報の利用目的及び利用方法

1. 【利用目的】 成人期 ADHD を対象とした認知行動療法プログラムで用いるセラピストマニュアルおよびワークシートの内容を、当事者の視点を踏まえて改善することを目的とします。当該研究で得られたわかりやすさ・言葉遣い・事例の適切さ・分量・改善点等に関するご意見を、セラピストマニュアルおよびワークシートの改訂に反映します。
2. 【利用方法】 提供を行う際には、研究計画に従い、お名前・生年月日など個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（ID）に置き換えたうえで、対象となる方が特定できないよう安全管理措置を講じて取り扱います。提供はパスワードをかけたファイルにより行います。これらの情報のみから、ご本人を特定することはできません。

6. 利用又は提供を開始する予定日

研究開始日を予定しています。

7. 問い合わせ窓口

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記問い合わせ担当者までお問い合わせください。

機関名:国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター

所属:認知行動療法センター 氏名:久我 弘典

所在地:〒187-8551 東京都小平市小川東町 4-1-1

電話番号:042-341-2712 (内線 3602)

e-mail:hirokuga※ncnp.go.jp (「※」を「@」に変更ください。)